



教授 / 博士（工学）

三 寺 潤

Jun Mitera

学歴

2006年3月 福井大学工学研究科 大学院博士後期課程 修了 取得学位：博士（工学）

経歴

2016年4月-現在 福井工業大学 環境情報学部 デザイン学科 教授
 2011年4月-2016年3月 福井大学 産学官連携本部 研究機関研究員（特別研究員 他）
 2009年4月-2011年3月 福井工業大学 産学共同研究センター 研究員・コーディネーター
 2007年1月-2008年12月 （独）日本学術振興会 特別研究員

相談・講演・共同研究に応じられるテーマ

地方都市における都市デザイン、地域・交通計画、公共交通を中心としたまちづくり、観光まちづくり、街路空間や公共空間に関する研究

メールアドレス

mitera@fukui-ut.ac.jp



主な研究と特徴

「既存ストックを有効活用した都市再生に関する研究」

我が国では、1960年代頃より経済成長に伴い、あらゆる分野で強い拡大・成長志向が広がった。しかし、近年における急激な高齢化と人口減少により我が国の社会構造は大きな変化が生じている。経済性や効率性を重視した従来の価値観から、人間性や安定性、快適性など生活の質そのものを向上させることを重視した価値観への転換が求められている。

今後、一人一人の生活の質（QOL）の向上を目指すためには、「人間の次元」を重視したまちづくりについて再考する研究が必要である。都市を魅力あるものに蘇らせ、持続可能なものにするためには、歩くことを前提としたヒューマンスケールの都市空間への再編成が必要であり、既存のストックを活かしたまちづくりが重要な鍵となる。特に、「公共交通と土地利用の相互関係」に主眼をおいた研究分野では、従来、大都市を対象としている研究はみられるが、中小規模単位の都市構造をもつ地方都市を対象としている研究はまだ少なく、またデータや分析も乏しい状態にある。

具体的に、①QOLを考慮した地方鉄道の駅周辺地区の評価手法の提案、②地方鉄道が介在した地域間の認知距離の相違に関する研究、③都市収縮過程の副作用軽減を考慮した中心市街地の再生の検討、の3点に主眼を置き研究を進めている。これらの研究を通して、既存ストックを有効に活用しこれからの時代に見合った「賢い縮小」を目指し、都市計画的視点からみた認知距離の解明やQOLの向上、さらに戦略的なコンパクトシティを進めることにより、総合的なアメニティ向上研究へと繋げていく。



図1. 研究の概要と内容

「観光まちづくりに寄与する“めぐりのデザイン”に関する研究」

福井県内の都市を対象とし、まちづくりの中でも特に観光に着目し、街を回遊させるためのデザイン、つまり「巡りのデザイン」について、観光に欠かせない“サインデザイン”に焦点をあてデザインコンセプトから設置までのプロセスを示す実践的な研究をすすめている。これまで、坂井市・アーバンデザインセンター坂井から委託を受け、三国湊を訪れる人々に地域資源の情報を適切に提供することを目的とした実践的研究「三国湊サイン整備プロジェクト（2019年度受託研究）」に取り組み、実際にサインの設置を行った。

まちなかの回遊性を高める仕掛けとしてサイン整備の提案を行ったが、サインの設置は回遊性を高める“きっかけ”に過ぎない。これまで以上に地域住民と協働し、これまでの成果を活かした新しい「巡りのデザイン」について提案を行う。本研究については、関連自治体、シンクタンク、東京都市大学（中島研究室）、東京大学（都市デザイン研究室）と連携を図り、遂行する実践的研究である。

＜これまで発表した研究論文＞

・サインデザインに着目した「巡りのデザイン」に関する基礎的研究



写真1. 三国湊地区サイン整備プロジェクト中間発表会（えちぜん鉄道三国駅 駅舎内）

今後の展望

地方の時代と呼ばれている現在、地方都市特有の「地域特性」や自然条件なども含めた「風土」を考慮することが今後は重要である。これまでのように、大都市を対象につくられた基準や一律な評価で物事を論ずるのではなく地方都市に適応した交通まちづくり計画について、実現性の高い分析や評価を行なう必要が社会的にも要請されている。

特に、地域・交通計画、都市デザインの分野は教育と研究と地域貢献の重なりあう部分に位置する極めて公共性の高い領域に属している。したがって、研究は都市公共交通計画という専門分野の範囲だけではなく、経済学や社会心理学、生態学など、様々な専門家による多様でより柔軟な研究体制をとりながら研究を遂行する予定である。さらに、計画の実現性を高めるため、今まで以上に自治体や各種事業者との連携も深めながら、現場を重視した実践的な研究を進めていく。

所属学会

社団法人 日本都市計画学会
 公益社団法人 土木学会
 日本デザイン学会
 JUDI都市環境デザイン会議
 一般社団法人 交通工学
 一般社団法人環境情報科学センター

主要論文・著書

三寺 潤, 本多義明「地方鉄道の再生のための駅周辺地区の評価と整備方策に関する研究」, 日本都市計画学会, 都市計画論文集, No.39-3, pp.43-48, 2004

大山英朗, 三寺 潤, 川上洋司「沿線住民の認識を通じた地方鉄道の価値に関する研究」日本都市計画学会, 都市計画論文集, No.47-3, pp.325-330, 2012

柳川達郎, 三寺 潤, 川上洋司「えちぜん鉄道に対する沿線自治体の価値認識に関する研究」, 土木学会, 土木計画学研究・論文集, 31巻 pp.763-769, 2014